

授業科目	日本の歴史と文化地理Ⅱ				単位	2		
履 修	選択	関連資格	日本語教員		ナンバリング	EN21308J		
開講年次	2	開講時期	後期	該当DP	DP1-1 DP2-1 DP3-1 DP4-3 DP5-2			
担当教員	清水 順子							
授業概要	『日本の歴史と文化地理Ⅱ』では、「日本の歴史と文化地理を踏まえて考える」「考えを発信する」能力の養成を目的に、価値観や常識という視点から「多様性」をキーワードに日本の文化・社会の問題を再考・再認識していく。授業は学生によるプレゼンテーションを軸とし、担当教員・他の学生と共に社会文化的事象について深く考えていく。各学生は社会文化的事象を自分なりの視点と思索を通したプレゼンテーションを行い、他の学生はそれに対するコメント記述を行う。さらに、この発表・コメント体験を通して「発信力」を養う。							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>日本の社会文化的事象を、価値観や常識・多様性との関わりの中で理解・考察し、それを説明することができる。</li> <li>各自の関心に基づいて選定した社会文化的事象についてパワーポイントを用いたプレゼンテーションができる。</li> <li>日本の社会文化的事象について様々な立場から多様で深い見方ができる。</li> </ol>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	30	30	30	10	100	
知識・理解 (DP1-1)			6	6	6	2	20	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)			6	6	6	2	20	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)			9	9	9	3	30	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)			4	4	4	3	15	
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)			5	5	5		15	
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
日本の歴史・文化地理についての豊富な知識を背景に、他国・地域の歴史・文化地理との対照に基づき自らの考えを持つとともに、それを他者と共有していくことができる。				日本の歴史・文化地理についての豊富な知識を他国・地域の歴史・文化地理との対照に基づき身に付け、かつそれらを批判的に検証する中で自らの考えを構築し、表現できる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	テーマ:コースガイダンスと導入 コースの目的、構成の説明を行う。			オリエンテーション、講義		レポート作成		120

2	テーマ:全体テーマ「日本の歴史・文化地理と多様性」 全体テーマ「多様性」について講師による解説とブレインストーミングを行う。	講義	(予習)自分のテーマを決め、 動機をまとめる	60
3	テーマ:トピック1「日本史の時代区分」 トピックに関する講師による解説	コメント記述, 講義	(復習)授業振り返り記述	60
4	テーマ:トピック2「日本社会の価値観」 トピックに関する講師による講義	講義、DVD 視聴、 コメント記述	(復習)授業振り返り記述 (予習)発表準備	60
5	テーマ:トピック3「日本における歴史認識」 トピックに関する講師による解説	講義、コメントシート 記述	(復習)授業振り返り記述 (予習)発表準備	60
6	テーマ:トピック4「〇〇人の定義」 トピックに関する学生の発表と講義	学生の発表とシェア リング、講義	(復習)授業振り返り記述 (予習)発表準備	60
7	テーマ:トピック5「日本における宗教観」 トピックに関する学生の発表と講師による解説	学生の発表とシェア リング、講義	(復習)授業振り返り記述 (予習)発表準備	60
8	テーマ:トピック6「沖縄の地理と国際的立場」 トピックに関する学生の発表と講義	学生の発表とシェア リング、講義	(復習)授業振り返り記述 (予習)発表準備	60
9	テーマ:トピック7「ナショナリズム」 トピックに関する学生の発表と講師の解説	学生の発表とシェア リング、講義	(復習)授業振り返り記述 (予習)発表準備	60
10	テーマ:トピック8「ステレオタイプ」 トピックに関する学生の発表と講師による解説	学生の発表とシェア リング、講義	(復習)授業振り返り記述 (予習)発表準備	60
11	テーマ:トピック9「現代史からみる価値観」 トピックについての学生の発表と講師の解説	学生の発表とシェア リング、講義	(復習)授業振り返り記述 (予習)発表準備	60
12	テーマ:トピック 10「日本における多言語主義と複言語主義」 トピックに関する学生の発表と講師による解説	学生の発表とシェア リング、講義	(復習)授業振り返り記述 (予習)発表準備	60
13	テーマ:トピック 11「伝統文化の革新と融合」 トピックに関する学生の発表と講師による解説	学生の発表とシェア リング、講義	(復習)授業振り返り記述 (予習)レポート作成準備	60
14	「日本の歴史と文化地理」における「多様性」についての解説とレポート作成指示	講義	レポート作成	60
15	総括	レポートのシェア リング	レポートの自己評価とピア評価	60
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				

26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	日本の歴史・地理に関する基本的知識を習得していること(「日本の歴史と文化地理 1」で扱われている事項について把握していることが望ましい)			
テキスト	授業中に資料を配布する			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	適宜授業中に紹介する			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校での歴史・地理授業での文化の扱いとは異なり、この授業は日本の社会文化的事象を生成する土壌として歴史・地理・多様性を捉えています。日本の社会文化的事象を客観的・主観的に考察し自ら問い直していきます。その上で、自分自身の思考・感情を通した価値観(世界の見方)の構築を期待しています。</li> <li>・自身のプレゼンテーション、他者のプレゼンテーションを聴く・フィードバックを行うことで学習効果は変わります。ぜひ、能動的・主体的参加を心掛けてください。</li> <li>・プレゼンテーション、レポートをインターネット記事のコピー&amp;ペーストのみで構成した場合、評価不能とします。参考資料としての利用は可ですが、必ず自身で構成してください。</li> </ul>			
達成度評価に関するコメント	<p>期末提出レポートをもって試験に代えます。単なる知識の有無ではなく、発表、レポートにおける思考の深さ・多角性・独自性を評価します。評価における「その他」では、授業中のグループディスカッションや学生間、教師との質疑応答での発言内容の知識理解と思考の深さ・判断の適切さと根拠の明示・独自性・新たな視点の獲得・積極性および他者の意見の傾聴を評価します。プレゼンテーション、レポートをインターネット記事のコピー&amp;ペーストで構成した場合、評価不能とします。</p>			

